

**小論文審査** (配点 100 点)

【出題趣旨】

・問題 1

小論文問題 1 は、戦後の日本において政治学はもちろん、法学や経済学などの社会科学を学ぶ学生に大きな影響を与えただけでなく、今なお多くの高校の「国語」の教科書でも教材として採用されている丸山真男『日本の思想』、岩波新書（1975年）、155頁～158頁を題材に、評論文の論理を正確に読み取れるかという読解力を問うたものである。

設問 1～設問 5 まで、各設問に 10 点ずつ配点した。

設問 1 では、接続詞などを適切に選択できるかという問題を通して、論理を正確に辿れる能力の有無を図ることを目的とした。

設問 2 は、評論文に多用される「」や（傍点）などに注意して、論理的に文意を読み取れるかを問うた。

設問 3 と問 5 は、論理を正確に読み取ったうえで、それを要約する能力をみることを目的とした。

設問 4 は、日本語を正確に理解するために必要な語彙力を問うために出題した。

・問題 2

昨今、海外での同性婚の合法化を受けて、わが国においても、同性婚の実現のための運動が活発化し、同性婚の合法化が社会的な議論となっている。これに伴って、いくつかの司法判断（下級審判決ではあるが、同性婚が認められていないことにつき、憲法 13 条・14 条・24 条をめぐって、合憲判断と違憲判断の両方）も出ている。

そこで、本問では、時事問題の一つである、わが国での同性婚の合法化について、反対派と賛成派の両者の典型的な主張を対話形式で記した問題文をもとに、そのいずれか一方の立場から、他方の立場を批判・反論することを求めた。これにより、法科大学院の法学未修者コースへの入学に相応しい文章作成能力（文章の論理性と表現力）を試した。

なお、本問は、言うまでもなく、同性婚に関する法的知識の有無そのものを問う趣旨のものではない。

以上